クローズアップ



建物外観

minamoa

金 光 一 郎 (Ichirou Kanamitsu) 菱電エレベータ施設株式会社 広島支店 設計課

1. はじめに

JR広島駅の新しい駅ビル「minamoa(ミナモア)」は、 商業施設、シネマコンプレックス、ホテルを備えた 魅力的な複合ビルです。

「minamoa」という名称は、水の都ひろしまを象徴する川面のゆらめきや、瀬戸内海のきらめきを表す「ミナモ(水面)」、みんなの駅ビルを意味する「ミナ(みんな)」、そして「もっと素敵な場所へ、もっと広島を好きになる」という願いを込めた「モア(もっと)」を組み合わせて名付けられました。

地下1階から9階には、カフェや雑貨店、中四国最大の飲食店街、シネマコンプレックスなどが集結しており、屋上の「ソラモア広場」では芝生スペースやテラスが設けられ、訪れる人々がゆったりとくつろげる憩いの場となっています。

駅直上に位置するホテルは9階から20階が客室となっており、上層階からは美しい瀬戸内の山並みや島々を一望できます。

また、全国初となる路面電車が高架でJR駅構内の 2階に乗り入れる交通モデルが実現したことで、JR や新幹線の改札階とフラットに直結し、乗り換えが 一層便利になりました。

2. 建物概要

所 在 地:広島県広島市南区松原町二丁目37番

建 築 主:西日本旅客鉄道株式会社

基本設計:ジェイアール西日本コンサルタンツ、東畑

建築事務所共同企業体

実 施 設 計 ・ 施 工 : 大林組・広成建設共同企業体 建 築 用 途 : ホテル、店舗、事務所、映画館、駐車場他

敷地面積: 86, 357. 39㎡ 建築面積: 20, 803. 92㎡ 延床面積: 129, 664. 36㎡ 構 造: S造(一部SRC造) 階 床 数: 地下1階、地上22階

建屋高、軒高:97.9m

工 期:2022年7月~2025年2月

竣 工 日:2025年2月28日 開 業 日:2025年3月24日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター 29台、エスカレーター 30台の計59台が設置されています。

◆商業用エレベーター (S西1~4号機)

乗場は、ソリッドカラー調の化粧シートを採用する ことで、シンプルで洗練された印象のデザインとなっ ています。かご室の天井にはダウンライト照明を採用 し、天井と壁には明るめの木目調シートを展開するこ とで、温かみのあるリラックスした空間を演出してい ます。

◆シネマ用エレベーター (S東1~4号機)

シネマフロアの乗場は、鋼板塗装仕上げ(3分艶)の白色で統一されており、とても明るい雰囲気です。

かご内は、天井と壁に濃い木目調シートを使用し、 重厚感のあるデザインです。また、背面壁に設けられ た展望窓からは自然光が入り込み、さらに外部が望め るためとても開放的な空間となっています。

◆ホテル用エレベーター

フロントエリアの乗場は、カラーステンレス(チタンブロンズ)で統一され、扉には鏡面仕上げの格子柄がデザインされています。かご内には電球色に点灯するガラスクロス天井を採用し、それに照らされる出入口周り(袖壁)のカラーステンレスと、側面壁と背面壁に施されたメタルファブリック調の化粧シートが高級感を演出しています。

クローズアップ



S西1~4号機 2階乗場





S西1号機 かご室 (CG)



S東2~4号機 2階乗場



S東2~4号機 7階乗場 (シネマフロア)



S東4号機 かご室





S東4号機 7階乗場(シネマフロア)

クローズアップ



ホテル用エレベーター H3、4号機 2階乗場



ホテル用エレベーター H3、4号機 7階乗場



ホテル用エレベーター H3号機 かご室



エレベーター仕様 (計 29 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
S西非1、2	人荷用	インバーター	群乗合全自動方式	1700	26	105	2	6 (1 ~ 6)		兼非常用
S西1~4 乗用	乗用	,,	全自動群管理方式	1600	24	105	4	S西1~3:7(B1、1~6)		S西1:車いす仕様
	70/11		土口助件自生力人					S西4:5(2~6)		
S西5	人荷用	11	乗合全自動方式	1000	15	45	1	3 (B1、1、2)		
S東1~4	乗用	11	全自動群管理方式	1600	24	150	4	$8 (1 \sim 7, 9)$		展望用(S東1:車いす仕様)
S東5、6	乗用	11	群乗合全自動方式	1600	24	90	2	$5(2\sim 6)$		S東5:車いす仕様
S東非1、2	人荷用	"	群乗合全自動方式	1600	24	105	2	9 $(1 \sim 9)$	<i>→</i> +++	兼非常用
S東7	人荷用	"	乗合全自動方式	1750	26	105	1	9 (1 ~ 9)	三菱	
C1	人荷用	11	乗合全自動方式	1600	24	60	1	3 (B1, 1, 2)		
P非1、2	乗用	11	群乗合全自動方式	1700	26	105	2	10 $(1 \sim 10)$		兼非常用
H非1	人荷用	11	乗合全自動方式	1700	26	150	1	20 (1 \sim 12, 14 \sim 21)		兼非常用
H2	人荷用	"	乗合全自動方式	2000	30	150	1	16 (1, $7 \sim 12$, $14 \sim 21$, R)		
Н3、4	乗用	11	群乗合全自動方式	1600	24	105	2	4 (B1、1、2、7)		H3: 車いす仕様
H5 ∼ 8	乗用	11	全自動群管理方式	1000	15	150	4	13 (7, 9 \sim 12, 14 \sim 21)		H5: 車いす仕様
8東8	荷物用	11	乗合全自動方式	4500	-	45	1	9 (1 ~ 9)	守谷	
T1	乗用	"	乗合全自動方式	750	11	60	1	4(B2, B1, 1, 2)	東芝	車いす仕様

エスカレーター仕様 (計 30 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
A1, B1	S1000	透明ガラス	20, 30	2-3	6000	2		可変速度運転システム
A2, B2	11	"	11	3-4	4950	2	日立	n,
A3, B3	"	"	"	4-5	4950	2		II .
A4、B4	"	"	"	5-6	4950	2		II .
C1, D1	"	"	"	1-2	5600	2		II .
C2, D2	11	11	11	2-3	6000	2		11
C3, D3	"	"	"	3-4	4950	2		II .
C4、D4	"	"	"	4-5	4950	2		II .
C5、D5	"	"	"	5-6	4950	2		II .
E1, F1	11	11	11	2-3	6000	2		11
E2, F2	11	"	11	3-4	4950	2		11
E3、F3	"	"	"	4-5	4950	2		II .
E4、F4	11	"	"	5-6	4950	2		11
G1、H1	11	11	11	6-7	6800	2		11
J1, K1	11	II .	20, 25, 30	1-2	5635	2	東芝	II .